

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3635
16年3月11日(火)
・Fax 095-828-1953

第4回賃金交渉報告

おはようございます。

3月3日、本部は第4回賃金交渉を行い、期間雇用社員の処遇改善、均等待遇及び正社員登用について、厚生労働省の方針、民間企業との動向など具体的な実態を基に、主張を展開しました。(以下組合の主張・抜粋を掲載します)

国会でも同一労働同一賃金

まず、2015年に株式会社イケヤジャパンが、有期労働を無期労働に転換し待遇での格差なしを実現した例を挙げ、職務水準が上がり、人の成長が会社の成長とつながっている、との評価を紹介しました。日本郵政グループこそ、経済の合理性で非正規雇用を捉えるのではなく、人としての処遇へと発想を転換し、私たちの具体的改善要求に応えるべきであることを強く求めました。

労災補償、病気休暇は命綱
続いて、均等待遇要求の個々の項目に沿いながら、その意味合いについて主張を展開。

具体的な手当や休暇のほか、労災補償や休職制度、病気休暇の必要性について、厚生労働省の労働災害動向調査において郵便業が突出して劣悪な数字であることを示し、改善を要求しました。

特にこの間
傷病によつて雇止めなどが発生している事実を、新東京郵便局の事例を示しながら、改善を求めました。

また、なぜ非正規との間に相違を設けるのか、改めて理由を質しました。

処遇改善、今春闘で道筋を示せ

会社は2月24日の第3回「特別手当」交渉で、「支給は困難だが、処遇改善は春闘交渉で検討」と回答しました。

本部は今回の交渉の最後に当たって、今、会社が何を検討し具体化しようとしているか、明らかにせよと迫りました。



本社前集會に九州を代表して
参加しました！

郵政ユニオンは非正規労働者の正社員化と均等待遇を求めています。昨年の正社員登用試験の結果も出ましたが、到底納得できる登用人数ではありませんでした。

また労働契約法20条裁判も闘争中ですが、時間のかかる裁判だともいいます。

安倍首相が1月の施政方針演説において、同一労働同一賃金の実現に踏み込むと表明しました。むしろ選挙を見据えての事ではありませんが、これによって多くの人が注目し成り行きを見ているのも事実だと思います。全労働者の4割が非正規労働者です。私は世論を動かすチャンスが到来したと思えました。



そんな中でむかえた本社前集會。私が到着した11時には本社前に既に多くの同士が集まっていました。私も「長崎いや九州を代表して本社へ気持ちをつづけるぞ！」という思いが強くなりました。

今年度、全国でとりくまれた「正社員化と均等待遇を求める要請署名」には、過去最高の29,413筆が集まりました。この多くの仲間の想いのこもった署名を、日巻委員長らとともに4名の期間雇用社員が、日本郵政グループ本社に提出しました。(本社前集會・院内集會の様子は、3月4日号の「未来」をご覧ください)

引き続き行われた院内集會では、要員不足とそれによる事故の多発、悪いのは現場だけか？待遇は違うのに何で処分は同じなの？マイナンバー配達は非正規も頑張ったのに、特別手当がどうして出ないの？夏季、冬季休暇を非正規にも与えてくれ！等々の声が上がりました。参加した非正規社員の仲間からの訴えには、各政

党の議員も耳を傾け、しっかりとメモを取っていました。ぜひ、この訴えを国会の中でぶつけて欲しいと強く思いました。

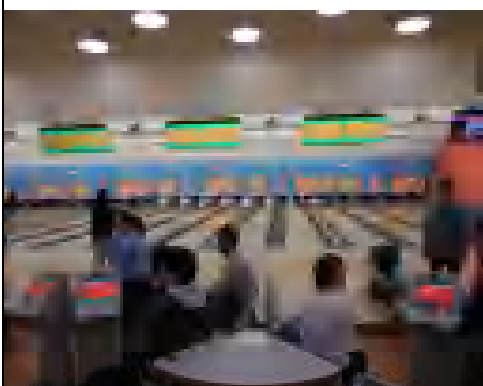
春闘ボーリング開催

3月5日(土)18時半より大橋ラッキーボールにて春闘団結ボーリングを開催しました。

数年ぶりの開催で、前回以来投げたない人も多く、最初はなかなかピンが倒れも悪かったみたいですが、徐々に調子を上げていき、皆、久しぶりのボーリングを楽しみました。

結果は、3集分会の前田さんが優勝し、2位は山田書記長、3位は向井副支部長でした。

表彰式終了後、向井副支部長が今春闘の情勢報告と、今後の取り組みへの協力を要請し、春闘団結ボーリングは終了しました。



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごととは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望する正社員化を。

めざせ、均等待遇

なくせ差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！